

『シャンティ』通巻281号 2015年7月1日発行 (1・4・7・10月の1日発行)
1985年6月28日 第三種郵便物承認

Shanti

シャンティ



281 2015年7月
なつ

女性が
がんばる
女性たち

村で出会ったお母さん、ひよいと子どもを片手に抱いて
日焼けした顔でにつこり。

でも、家事に子育て、畑仕事、とても忙しく働いているうえに

「このごろはなにかとお金がかかるから出稼ぎに行かなくちゃ……」
悩みが絶えない。

家族の生活を支える役目を担うことが多い女性たちなのに

貧しかったり「女だから」という理由で学校に行けなかったりして

教育の機会を奪われてしまうことが多い事実。

女の子も男の子も同じように学んでもらいたい。

シャンティはそう考えています。

Shantier
シャンティ 281号 目次

24 定点観測…アジアから

カンボジア／ラオス／ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ
アフガニスタン／ミャンマー
岩手／気仙沼／山元

9 特集 がんばる女性たち

10 世界の絵本を読んでみよう

「子どもの権利条約」創作絵本 ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ
第3回国連防災世界会議での成果報告

25 シーカー・アジア財団現地自立化式典を終えて

26 シャンティな人たち
天野教之・千香子 天野医院

28 今期の理事・監事が選出されました

29 日本しゃんていな旅 向陽院

30 スタッフの昼ごはん シェムリアップ事務所（カンボジア）

31 おしらせ／編集後記
道

食事のメインになるスープを作るルム・ピーさん
（カンボジア）



複式学級でもより良く学べるように

Laos ラオス

報告：山室仁子（ラオス事務所）

ルアンパバーン県ヴィエンカム郡にて、昨
 年秋から行われていた教員を対象とした複
 式学級運営研修会（写真）が終了しました。
 同郡すべての小学校が事業対象で、少人
 数制による参加型研修会を目指した結果、
 計12回の開催となりました。講師となつた
 のは郡教育スポーツ事務所の職員9人。ま
 た、講師のサポート役は県教育スポーツ局
 職員、教員養成校教官、教育スポーツ省担
 当官が務めました。

研修会は5日間、複式学級運営手法の理
 論学習、複式学級の指導案作成、模擬授業、
 ビデオ撮影した模擬授業の検証、おさらい
 といった流れで行なわれました。

参加した教員からは、
 「児童への効果的な自習の出し方を学べた
 ことがよかった」、「指導案を作るようにな
 ったから徐々に円滑に授業を進められるよ
 うになった」、「児童が以前のように騒がな
 くなってきた」などの声を頂きました。

今後も引き続き、改善点や課題点を把握
 するために各学校を訪問してモニタリング
 を行っていく予定です。

◎この研修会は「JICA草の根技術協
 力事業」で実施しています。

※複式学級……一人の教員が同時に複数の学年を教える



このコミュニティ図書館をみんなで大切にします

報告：畔田裕美子（カンボジア事務所）

カンボジア Cambodia

プノンペン市内のアピワット・ミンチェイ
 スラムに新しいコミュニティ図書館が完成し
 ました。

この図書館には、いつも黙々と本の片付
 けをしている女性がいいます。図書館員とな
 るヘン・チャンティ（写真左）さんです。彼
 女は内装を仕上げるために日中には気温が
 40度近くに達するなか、シャンティ職員と
 ともに働き、時には昼食に招いてくれまし
 た。

幼い頃から勉強が好きで、クメール語の
 読み書きはもちろん、フランス語を話すこ
 ともできるヘンさん。

「私は貧しいながらも高校を卒業すること
 ができましたが、生活不安から小学校さえ
 まともに通えなかった人たちが多くいます。
 この図書館ができたおかげでここに住む全
 員が本を読む機会をもつことができてとて
 もうれしいです。これからは私たちがこの
 図書館を守っていかなければなりません」。

本を通じて人びとの人生の選択肢が広が
 るよう、子どもたちが夢をもち続けること
 ができるよう、私たちはコミュニティの人び
 とと協力していきます。





寺院学校建設開始に向けて地域と一丸に

報告：長沢有華（ミャンマー事務所）

ミャンマー Myanmar

昨年に引き続き、ピー郡で寺院学校3校の建設を行います。写真は対象校の1つであるスッカヤー寺院学校の現校舎。校舎というよりは建物の1階部分の余ったスペースを教室として使っている状況です。

寺院学校は公立学校に通えない子どもたちのために、寺院が経営する完全無償の学校であり、僧侶の方々の尽力と地域の方々の協力によって成り立っています。

対象校3校には建設に向けて地域住民で構成される学校建設委員会が設けられました。土地整備、建設中のモニタリング、建設後の維持管理まで関わってもらいます。

サンダーヨン寺院学校の建設委員会の委員長は「建設が始まったら委員会のメンバーで毎日交代でモニタリングをし、一生使えるような立派な校舎にしてみせる」と力強く話してくれました。

「地域の子どもたちが安心して学べる環境を」その想いで集まった委員会の皆さんとともに一丸となって、本格的な建設開始に向けて動き出しました。

女が性んたばちる

特集



◀お寺に行くときは白いシャツとクロマーで。クロマーの巻き方がポイント。僧侶への供え物のご飯（シルバーのお弁当箱）を持って、毎週行く。

ファッション
fashion

普段着は
着やすい綿の服▶



コンボントム州の
ミツク・ランさんの暮らし

55歳、助産師、コミュニティ図書館運営委員。
ニーベック集合村生まれ、今もその家に家族（母親、妹、夫、弟、息子、息子の嫁、2人の孫の計8人）で住んでいます。14歳から助産師として働いていますが、それだけで生活するのが難しいため、家庭菜園で採れた野菜を売ったり、服の修理をして生計を立てています。ニーベックは無電化地帯で、ミツクさんはテレビも携帯電話も持っていません。ニーベック村では平均的な暮らしです。コミュニティ図書館の運営委員として、図書館のあらゆる活動（野菜栽培・母子保健研修や、かまど・トイレ制作研修）を引っ張って来ています。

がんばる
アジアの女性の
暮らし

その土地の多様な文化が生活には息づいています。シャンティの活動地でいままも生きている民族伝統の衣食住や習慣、1日の生活について、現地職員が女性たちにインタビューしました。厳しい環境のなかでパワフルにがんばる女性たちです。



cooking

料理

ハレの日の食事
この日は、「ソムロー・ココー」という野菜がたくさん入ったスープ。寺に行くので、お坊さんへのお供え物として持って行く。ミツクさんにとってはちょっと特別な料理。村ではごはんにおかず一品が一般的。▶



◀家庭菜園で作った野菜を家の前で売っている。毎日、0.5（約60円）～0.75（約90円）ドルぐらいの稼ぎになる。



仕事

working



▲内職の服の修理。近所の服を修理してあげる。だいたい一つで0.5～1.25ドル（約150円）ぐらいの代金がもらえる。

shopping

買い物

◀お気に入りの店。そもそも村にはお店がほとんどない。この日は植物油1.25ドル（約150円）を歩いて買いに来た。



Laos

ラオス

ナーさん



シンのデザインは裾のあたりに織りや柄が入っているものが多いですが、今ルアンパバーンで流行っているのは、腰のあたりから柄が入っているシンです。でも、織りや柄の面積が大きいシンはその分価格が上がります。普段使いするには値段が少し高いので、シルクではなくコットン素材を選んで、この1着を時々着て楽しんでいます。

オイさん



10年以上前は、今よりもっと長い丈が主流だったけれど、今はひざが隠れるひざ下丈のシンが主流です。都市部ではもう少し短くひざ丈のものを着ている若い人たちもいるようですが、あまり丈が短いとお寺や銀行には入れません。



シンの値段はピンからキリまでです。正装のシンは200万キープ(約2万8000円)以上する素晴らしい織りのものもあります。普段使いのシンは、安いものが3万キープ(約420円)くらいから手に入ります。生地がコットンかシルクかで値段が異なります。普段使いのシンは、5万~12万キープ(約700~1680円)のものを選びます。式典には40万キープ(約5600円)以上値が張るシンを選びますね。

デンさん



ラオスの伝統・シンのこだわり

ラオスでは、女性は普段の生活においても、仕事場でも、冠婚葬祭でも、シンとよばれる巻きスカートを着用します。普通のスカートやパンツスタイルも着ますが、基本はシン。それだけに、

若い女性たちもみんなこだわりのシンを持っています。シンは基本的にオーダーメイド。生地を市場で買って、採寸して、自分用に仕立ててもらいます。

BRE

ミャンマー(ビルマ) 難民キャンプ

カレン族の日常に欠かせないもの

メラ難民キャンプに住んでいるジュリー・トゥーさんは48歳。夫と2人の娘、85歳の母親の5人家族です。子どもは6人、3人はメラ難民キャンプ、3人は親戚とミャンマー(ビルマ)に住んでいます。ミャンマーのおもしろい「タナカ」やカレン族の伝統衣装について教えてくださいました。



▶タナカを手に取り、少量の水と混ぜて、溶かし、顔全体にうすく塗る。男の子は両頬、おでこ、あごなどに指跡を残すように、女の子は両頬、おでこ、あごなどに、円を描くように塗る。日焼け止めの役割があって、ひんやりして気持ちいい。よく使うのは「スピナ(Shwe Pyi Nann)」40パーツ(約144円)



▶民族衣装は教会へ行くときや、旧正月、特別行事のほか、毎週水曜日に着る。キャンプ内の学校では民族衣装を着ることが定められている。

◀普段の食事はごはん・野菜・フィッシュペースト、時々カレーも。野菜は朝市で買うことが多い。葉物野菜だと1束約5パーツ(約18円)



Myanmar

ミャンマー

ロンジー(巻きスカート)

膝丈のスカートやズボンを着る人はいませんが、公務員などはロンジーが正装として義務づけられていることもあり、仕事着として、普段着としても多くの人が着ています。それぞれの少数民族が、独自のデザインのロンジーを持っています。

▶普段使いロンジー 素材は綿で仕立てる。布の値段は1000~5000チャット(約100~500円)。掃除などの家事では、丈を短く調整して着用。



◀結婚式用ロンジー 素材はシルク、好みのデザインで仕立てる。上下セットで3万チャット(約3000円)



ルム・ピーさんの一日

コミュニティ図書館のあるコンポントム州ニベック集落村に暮らす一家に生活の様子を聞きました



ルム・ピーさん

起床

雨季は3km離れた水田に行くので、準備のため3時に起床



農作業

家庭菜園で家族が食べる野菜を育てている。雨季は水田でも農作業する。

コミュニティ図書館

コミュニティ図書館に来るのは平日7～9時。子ども2人をコミュニティ幼稚園に連れて来たときに寄る。字は読めないで、図解された農業の本を見る。



ルム・ピーさん(39歳)の家族は、夫(46歳)と18歳の長女を筆頭に8人の子ども。夫妻はニベック集落村で生まれ育ち、村の寺院小学校に入学、内戦のせいで1年も通えず、今も読み書きができません。1ヘクタールの水田で農業を営んでいますが、かんがい施設がないため雨季だけ稲作をして、自家用の米と野菜を作っています。不作で米が翌年の収穫前に無くなってしまいうこともあり、近所の人から「借りる」こともあります。

現金を稼げるのは、夫が村の音楽隊(乾季に冠婚葬祭で演奏)として働くことだけです。一回あたり多くても5ドル(約600円)で、カンボジアの貧困レベルである一人当たり日1.5ドル(約138円)以下の基準も大きく下回っている最貧困家庭です。

一家の財産は水牛2頭、犬2匹、鶏4羽、井戸一基、携帯電話一台、自転車一台、バイクのバッテリー一台、電球一個、料理道具と農具です。バイクやテレビ、ラジオは

朝食

行商から買った魚のスープとご飯で朝食。乾季は食物がないので1日2食。雨季は5時に昨夜の残りの冷や飯で朝食をすませ、弁当を持って田へ行く。



農作業・家事・子どもの世話

それぞれの仕事を並行して進める。雨季は夕方まで水田での農作業。



昼食

雨季は水田の農作業中にお弁当を食べる。乾季は食料がなく朝食が遅いので、昼食はなし。

12:00

持っています。村には店が少ないので、食料は近所から、食料や日用品は毎日村を回る行商からも買います。

村には上下水道はなく、濾過器を使わず井戸水を飲んでいて衛生状態に不安が残ります。照明は電球一つのみ。電気がきていないので、携帯電話と電球はバッテリーで使用しています。バッテリーは発電機を持っている家で3～5日おきに0.5ドル(約60円)ぐらい払って充電させてもらっています。



夕食

スープとご飯で夕食

16:00

余暇

近所の家に行き、TVを見たりおしゃべりを楽しむ。

17:00

就寝

家族みんな仲良くござの上で寝る。雨季は翌朝に備えて20時に就寝。

21:00



社会活動でがんばる女性たち

私

たち女性同盟は、村の女性の生活向上のための活動をしています。特に力を入れていますが、女性の擁護です。女性同盟は、村の15歳から45歳の女性はすべて加入することが決まっています。

村の女性たちは、たくさん仕事を抱えています。それは家事だったり、畑作業だったりしますが、男性よりも仕事をしていると思っています。それでも男性は女性にもっと仕事をするように言い、時に女性の過剰労働を招いてしまいます。また、残念ながら、家庭内暴力もあります。多くは、男性が女性を見下しているために、起こる問題です。そして、女性自身も自分たちの尊厳を理解していないために起こるのです。

そのため、私たちは、村の女性たちに、自信を持つことの大切さや、社会的地位が男性に劣っていないことを伝える会合を

2カ月に一度開いています。ほぼすべての村の女性が参加します。

さらに、村で大きな会合を行う際には、女性同盟がその準備と運営を取り仕切っています。私たちのほうが、男性よりも細かなところに気が付くし、スムーズに運営できますからね。女性同盟長として、村の女性たちをサポートする活動を行うことを、とても誇りに思っています。村のみんなの楽しそうな顔やうれしそうな顔を見るたびに、そして問題が解決されるたびに、うれしい気持ちになることが、続けていける秘訣ですね。だって、私のサポートで誰かが幸せになれるのだから。

女性同盟の活動は、私たちがだけではできません。村長だけでなく、青年同盟や、村教育開発委員会など、村の各同盟の協力が不可欠です。私たちは独断で活動するのではなく、各同盟と

女性同盟の活動について

シックさん (45歳) — ブーケオ村・ヴィエンカム郡 (ラオス)



協同で活動して、村の総意として、私たちの活動が認められるように配慮しています。

私は、この役割がとても好きです。恥ずかしがり屋なので、人前で話すことはいまだに苦手ですが、村の女性たちの喜ぶ顔が見れるので、続けていきたいですね。

(聞き手: ラオス事務所 加瀬貴)

瞑

想のため各地を巡業していったとき、少数民族の子どもたちが置かれている状況を目の当たりにし、孤児にならざるを得ない子どもたちの面倒を見たいと思うようになりました。2007年にバス会社が土地を提供してくれ、地元ビーで念願の孤児院を始めることができました。ある時70人の孤児の受入の相談がありました。当時は経営が大変苦しかったので到底無理だと思いました。しかしそのシヤン族の子どもに故郷の話を聞くと、自分の家が目の前で焼かれ、家族を失った子どもたちは軍で強制労働させられたことを知り、私は全員育てる覚悟を決めました。

少数民族の子どもたちはビルマ語が話せないため、身振り手振りでコミュニケーションをとりました。衛生環境が悪く病気になる子どもも多く、大雨の中バイクに6人の子どもの乗せて病

この子たちのために

ドーナティリ尼僧 — ヤダナミンズリ孤児院院長 (ミャンマー)



院と孤児院を何度も往復したこともありました。私自身体調を崩すこともありましたが、倒れてたまるものかと自分に言い聞かせ、子どもの面倒を見続けました。

こうして大切に育ててきた子どもたちが、異なる民族間での生活を通じてたくさんのお話を経験し学び、困難を乗り越えて立派な大人に成長していく姿を見ることが何よりの喜びです。今後はこの子たちが国際社会に出られるように、高等教育の延長でインターナショナルスクールを併設したいと考えています。そして孤児だからと差別的に見られていた子どもたちが、将来社会に出て立派なリーダーとなってくれるように、私はこの子たちのお手本でいられたらと思っています。

(聞き手: ミャンマー事務所 長沢有華)



BOOK GUIDE

アジアの女性を知る3冊



女たちがつくるアジア

松井 やより (岩波書店)

先進国からの支配を受け、勤労者階級として搾取され、家父長制の伝統の中での性差別を受ける、アジアの女性は三重の抑圧に苦しんでいる。著者は朝日新聞社アジア総局勤務時代に各国の女性を取材し『女たちのアジア』で問題提起した。本書はその続編といえる、アジアの女性を取り巻く現状と問題構造を理解できる1冊。



ジェンダー・開発・NGO

— 私たち自身のエンパワーメント

キャロライン・モーザ/久保田 賢一・久保田真弓 訳 (新評論)
ジェンダーと開発における理論的な裏づけや整理を行ったうえで、ジェンダー計画を行う適切な手順を示し、開発に携わる職員向けのトレーニング方法の紹介を行っている。ジェンダーに対処した開発を行うための手法と生じる様々な制約に注意を促し、ジェンダーと開発の専門書として、国際協力に携わる、またはこれから勉強する人に。

教育におけるジェンダー平等

ネリー・ストロンキスト (東信堂)

根強い男女ステレオタイプ化と性的役割分業観、多くの不平等を克服するために。地域の教育の男女格差や教育上の問題を分析し、女子と女性の教育の向上に向けた教育改革や戦略の事例についてわかりやすく提示している。途上国の教育政策に関する研究をおこなうユネスコ国際教育計画研究所が発行しているシリーズ。



プロジェクトを立案するとき に留意していること

シヤンティの考え方

「女子に教育は不要」など、家父長制価値観から、結果的に女性の識字率が低い国はまだまだ多くあります。しかし、次世代を育て家庭を運営する女性が教育を受けることは、家族の生活を向上させることがわかっていきます。現在、シヤンティでは女性の人権も含めた「人権を尊重する」という観点で、事業を立案し、人権や開発について、公平の考え方など現地職員への研修も行っています。

海外の活動地では多くの関係者の協力の元事業を行います。まず、状況が異なる国では、民族・宗教・階級など包括的な視点でものごとを見ていく必要があります。その中でも大切にしているのは、「ライツ・ベース・アプローチ(人権に基づくアプローチ)」という考え方で、「ジェンダー(社会的、文化的に形成された男女の違い)主流化」という観点です。

ライツ・ベース・アプローチとは、国際的な貧困対策や福祉政策において、現在、主流となっている考え方は、人権が持ちうる力を意識的かつ体系的に活用するものです。

子どもが学校に通うことに理解がない親がいたり、学ぶ環境が整っていない場合も多くあります。子ども、親・学校・行政に対してもそれぞれ働きかけによって意識が高まり、実行する力を得ることができるよう、地域全体で人権意識の向上を図るようにしています。

ジェンダー主流化とは、女子・女性の教育

の設備の整った学校以外では、小学校5年生になると女子の就学率が下がります。

教育の重要性を伝えると共に、女子が安心して通えるように、トイレなどの不安材料を減らすように校舎や図書館周辺の環境を整えて配慮しています。

異文化理解というのには共に生き、共に学ん

機会の保障と質の改善を優先課題とする観点です。女性の社会参加を促進することは大切ですが、女性の自己決定権もつけていかなないと片手落ちとなってしまいます。たとえば家事や農作業を担っている女性にさらに労働を求めると、世帯収入は上がりますが、過重労働に苦しんだあげく、夫が酒代にまわつたりします。「収入の使い道」の決定権をつける必要があります。

1990年の「万人のための教育」(Education for All: EFA)に関する世界会議で宣言されたEFA宣言では、ジェンダー平等の視点に立つて事業を形成し、実施、評価をしています。

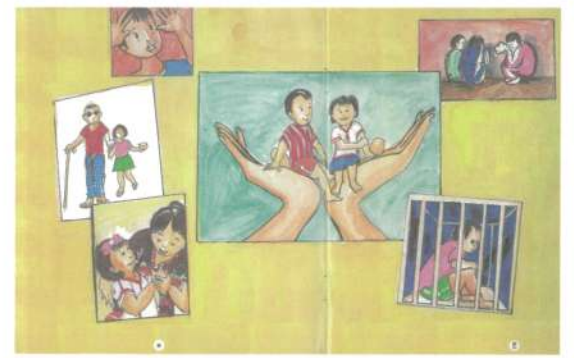
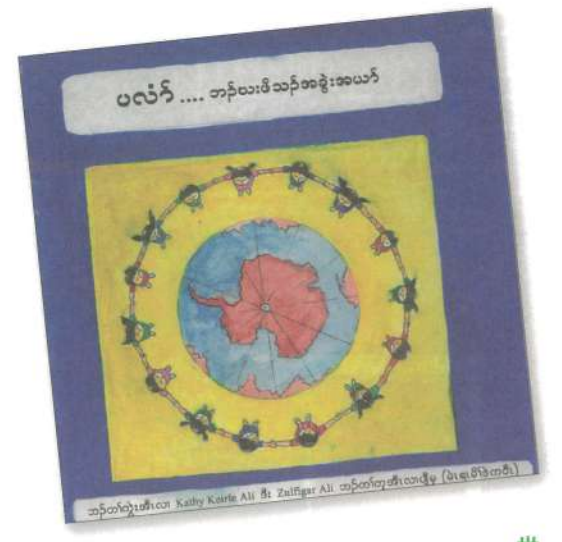
例えばアフリカニスタンでは、タリバン政権時代は女子教育を否定し、女性の権限を著しく制限しました。15歳以上の成人識字率は36%、特に女性は20%に留まっています。結婚適齢期にあたる14~15歳くらいになると両親は学校に行かせたがらなくなり、都市部

で寄り添うことから生まれ、時間をかけて理解できるものだと考えます。これからもこのアプローチを、日常的に意識しながら活動していきます。

(海外事業課課長 神崎愛子)

子どもの権利条約

「子どもの権利条約（児童の権利に関する条約）」は世界中のすべての子どもたちがもっている権利について定めた条約です。難民の立場で紛争に巻き込まれてしまったり、権利が守られない状況におかれる難民キャンプの子どもたちのために出版されました。（日本語訳にあたっては「日本ユニセフ協会抄訳」を参考にしました）



1 すべての子どもは、生きる権利をもっています。親（保護者）は、子どもの心やからだの発達に応じて、適切な指導をしなければなりません。国は子どもを麻薬や人身売買から守らなければなりません。心やからだに障がいがあっても、充実してくらせるように、教育やトレーニング、保健サービスなどが受けられるようにしなければなりません。

2 病気やけがをしたら、できるかぎり治療を受ける権利があります。私たちには健康でいられるように安全な食べ物や水、良い環境が必要です。



3 国は、15歳にならない子どもを兵士として戦場に連れて行ってはなりません。また、戦争に巻き込まれた子どもを守るために、できることはすべてしなければなりません。戦争や災害でよその国にのがれた子ども（難民の子ども）は、その国で守られ、援助を受けることができます。



4 学校は勉強だけではなく、お絵かき、歌、ゲームなど、いろいろなことができる場所です。友だちとともに社会で生きていく準備をし、お互いを大切にするということを学べるようになります。



5 子どもは、思想・良心および宗教の自由についての権利を尊重されます。親（保護者）は、このことについて、子どもの発達に応じた指導をする権利および義務をもっています。自分に関係のあることについて自由に自分の意見を表す権利をもっています。



6 すべての子どもは、みんな平等にこの条約にある権利をもっています。文化や宗教、民族、国籍、性別、性格が違うと違うことを認めあいましよう。私たちはみんな違うけど、同じ権利を持っています。



賑わい戻る釜石のこれからに期待

報告：千葉りか（岩手事務所）

岩手 **Japan**

岩手事務所が遠野市から釜石市へ移転してから2年が経とうとしています。
現在の事務所は「大町」という東日本大震災での浸水地区にあります。越してきたばかりのころは閑散としていたのですが、周辺に昨年イオンがオープンし、少しずつですが賑わいが戻ってきています。
すぐそばにできた共同店舗の「タウンポートおおまち」（中央・2階建）には被災して仮設店舗で営業を再開していた方々などが移ってきました。その前には市民広場やイベントなどで使われるステージが作られています。
今年中に広場の前の更地には情報交流センターが建設され、来年度には公営住宅が2棟（8階建て、6階建てそれぞれ1棟）、再来年度以降には文化ホール（文化会館）が建つ予定になっています。
住宅・商業施設・公共施設ができ、人が集まり賑わう。少し寂しかった釜石が、かつて鉄の町として栄えていた頃にまだおよびはなくても、活気があふれた町に戻ることに期待したいです。



春の「あつまれ、浜わらす」

Japan 気仙沼

報告：畠山友美子（気仙沼事務所）

今年もまた、子どものための自然体験活動「あつまれ、浜わらす」に気仙沼の子どもたちが元気に挑戦しています。
3月21日、13人の子どもたちが地元漁師から技を伝授されました。船と岸壁を繋ぐロープの結び方やアワビ漁の道具作りなど、地域に伝わる漁業の技を学びました。
4月4日、地域の「宝もの探し」に23人の子どもたちが参加しました。海岸までの道を歩きながら、風景や花、生き物など好きな物や気になった物を写真に撮って、アルバムを作りました。
5月2日、10人の子どもたちが、「ツリーハウスづくり」を始めました。今年1月に行った「こども作戦会議」で出たアイデアの実現です。1年をかけて建てる計画ですが、今回はどんなツリーハウスにするかを子どもたちが絵に描きました。
これから子どもたちは、お年寄りや高校生、障がいのある人や外国人など地域の様ざまな人たちと交流しながら「みんなのツリーハウス」をつくっていきます。



笑顔もつないで来ました

報告：古賀東彦（山元事務所）

山元 Japan

シャンティ山元事務所は、宮城県亶理郡山元町の仮設住宅を、2012年9月以来、移動図書館車で訪問しています。

運行開始に向けた準備段階からこれまで3年近くにわたりずっと私たちを支えてくださったのが、ブックオフコーポレーションおよびグループ企業の皆さん（写真）です。資金援助、書籍の登録・整理、移動図書館車や倉庫の本棚への配架。そして、運行が始まってからは、ほぼ毎月2回のペースでのべ250人近い方が移動図書館の運行を手伝いに来てくださいました。日本各地、フランスや韓国からも。ボランティアさんとう会うのを楽しみにしていた利用者さんも多かったと思います。このボランティア活動に関わる中心職員「コアメンバー」が毎回必ず1〜2人ついてくださったことも心強かったです。

つないでつないで、つないできたこのお手伝いも3月でいったん終了しました。最後の運行には、コアメンバーの皆さんが集まってくださいました。これまで大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

シーカー・アジア財団 現地自立化式典

3月7日、バンコクのクロントイ・スラムにある財団事務所にて、シーカー・アジア財団現地自立化式典が執り行われました。シーカー・アジア財団は1991年の現地法人化、そして2010年から5か年にかけて取り組んだ現地自立化計画を経て運営面でも独り立ちを果たしました。この日は自らの力で社会課題を解決していくNGOとなった記念すべき日となりました。

財団特別顧問のプラティープ・ウンソントム秦先生から冒頭あいさつ。日本からシャンティ会長若林恭英、事務局長の関尚士が出席しました。

（事務局長 関尚士）



覚書を交換するシャンティ会長（左）とシーカー・アジア財団理事長（右）

第3回国連防災世界会議での成果報告

3月18日、第3回国連防災世界会議は、2030年までの国際的な防災指針「仙台防災枠組」を採択し、閉幕しました。

防災の取り組みのなかで、①犠牲者数、②被災者数、③経済的な被害額、④病院や教育施設など重要インフラ損害数、⑤防災計画導入国数 ⑥防災における開発途上国への支援（国際協力）、⑦災害への早期警戒・リスク情報へのアクセス、の7目標を各国が達成することが合意されました。

住民や市民団体や行政などが一丸となって災害への備えに取り組めるよう、災害リスクの開示を求めると共に、交渉中に起こった防災をめぐる途上国支援における各国の対立を、災害大国である日本がリードすることが期待されます。

シャンティも東日本大震災、原発事故の被害を経験した国民として、市民の声を指針に反映させる提言活動をはじめ、被災者としての経験を通じて得た教訓を海外の人たちと共有し、災害に強い社会づくりにつ



「市民防災世界会議」で活動を紹介する気仙沼事務所職員

いて一緒に考える試みに参加しました。気仙沼事務所の活動を紹介したイベントでは、南アフリカ、ネパールで防災活動に取り組む人たちとともに、災害に強い地域をつくるために何が必要なのかを話し合いました。

また、「宗教と防災」シンポジウムでは、曹洞宗に協力いただいている山元事務所の移動図書館活動を紹介、被災者の声に耳を傾けることの大切さや被災地支援で宗教者が果たす役割について報告しました。

（緊急救援室長 木村万里子）

シャンティな 人たち शांति

vol.
69

医療法人社団明衣会 天野医院

天野教之
あまの・のりゆき

天野千香子
あまの・ちかこ

ウンビウム難民キャンプのコミュニティ図書館



埼玉県の天野医院院長である天野教之さんは、千香子夫人と一緒にカンボジアとミャンマー（ビルマ）難民キャンプを支援してくださっています。シャンティとのつながりや現地への思いなど、お二人に話を伺いました。

天野医院の近所である意鑑寺（いっかんじ）に座禅に行ったことがきっかけで、ご住職の田中一稔さんと知り合った。田中さんからの紹介でシャンティを知り、意鑑寺さんと協働で1998年より講演会や寄席を開催して、クラフト販売や募金の呼びかけをおこなうようになった。

現地を訪れ自分の目で見て住民から話を聞くことで、さらなる支援の必要性を強く感じた。2011年からはカンボジアの学校や図書館を支援し、2012年からはミャンマー（ビルマ）難民キャンプでの図書館も支援するようになった。

カンボジアの農村の小学校の校長先生が、「出稼ぎに行く人をなくしたい」と熱く語ってく

れたことは今でも忘れられない。今生きている人を大事にするカンボジアの人の姿勢に共感した。それは、道元禅師の言葉に込められる、「この時しかない今を大事にしなさい」というメッセージに通じていると感じた。学校建設もコミュニティ図書館も、村の人と話すことでそのやる気を感じたからこそ、支援をしようと決めた。

「住民たちから一生懸命やろうとしている思いが伝わってきた。私たちが背中を一押ししてあげたら、自力で変えていける。建物を支援しても中身がしっかりしなければ長続きしない」。

現場で一生懸命なシャンティの職員を目の当たりにし、応援したくなった。「自分ではできな

いけれど、代わりにやってくれ
る人がいる」。職員の存在もモチ
ベーションの一つとなっている。

ミャンマー（ビルマ）難民キ
ャンプへの訪問はカンボジアとは
また違ったものとなった。衣食
住は満たされているように見え
たが、行く先がなく将来を見る
ことができないうらさがある
と実感した。難民に対する見方が
変わった瞬間だ。「シャンティと
関わって世界に目を向けられる
ようになった。今までは国内や
地域社会にしか目が向かなかっ
た。海外ニュースに対する感じ
方が変わった」。

カンボジアを好きになったき

っかけは食事を共にしたときだ
った。カンボジアの村を訪問し
た際に出される食事は、日本か
らがんばって作ったご馳走だ。
美味しそうにたくさん食べると、
村の人はとても嬉しそうな表情
を浮かべる。支援者だからとい
って見構えているような感じは
なく、みんな友だちのように接
してくる。そんなカンボジア
人の人柄に惹かれている。「将
来はカンボジアで農業をしてい
るかもしれない」と冗談交じり
に話してくれた。

（海外事業課 眞屋友希）



上：カンボジア・ニーベック集合
村コミュニティ図書館・多目的
ホール贈呈式に参加した
下：多目的ホールで初めて開か
れた市場で（中央为天野さん）

今期の理事・監事が 選出されました

3月28日の定時社員総会において、今期(2015年4月から2017年3月まで)の理事19人監事2人が選出されました。

★マークの方は
新任の役員です



◎理事
青木利元 (あおき・としゆき)
作家
私にとってSVAは、社会貢献の分野での「心の拠りどころ」です。その運営に関われるのは喜びでもあり、責任の重さも感じます。気負わずにやります。



◎会長
若林恭英 (わかばやし・たかゆき)
長野県・安楽寺住職



◎副会長
神津佳子 (かみづ・かよこ)
有限会社ケイアンドアイ代表取締役社長



◎専務理事
茅野俊幸 (ちの・しゅんこう)
長野県・瑞松寺住職



下澤 謙 (しもざわ・たかし)
静岡文化芸術大学文化政策学部国際文化学科長教授
★
NGOで培ったこれまでの現場経験、プロジェクト経験を活かして、多少でもシャントイのお役にたてればと思います。



岡本和幸 (おかもと・かずゆき)
千葉県・真光寺住職
★
シャントイの原点、市民運動、そして平和と希望を願う活動を摸索していきたいと思っています。



◎監事
野中茂 (のなか・しげる)
野中公認会計士事務所公認会計士
★
シャントイの取り組みに感銘を受け、参画することになりました。「公益」の名に恥じないようコンプライアンスに気を配って参りたいと思います。

野村修一 (のむら・しゅういち)
弁護士

中村紀子 (なかもら・のりこ)
★
東京都生活協同組合連合会・東京都消費者月間実行委員会事務局長
生協活動で培った経験や知識を活かして、理事として少しでも貢献できればと思います。よろしくお願います。

関尚士 (せき・ひさし)
シャントイ国際ボランティア会事務局長

増田和生 (ますだ・かずお)
元自治労大阪府本部特執

日本 しゃんてい の旅

10 長野県上田市 向陽院



①手入れが行き届いた境内 ②シャクナゲを販売して寄付にあてている ③2015年「寺子屋」演台の前で金子住職

◎向陽院
長野県上田市塩川

◎アクセス
長野新幹線上田駅にて、しなの鉄道線に乗り換え、大屋駅下車(徒歩15分または車5分)

◎周辺のみどころ
ほたるの里(徒歩3分)
信濃国分寺(車で10分)
「無言館」(車で20分)
鹿教湯温泉(車で20分)

丸子地区7寺院(天龍寺、霊泉寺、全芳院、長福寺、宗龍寺、龍願寺、向陽院)で構成されている「曹洞宗丸子寺院の会」。
持ち回りで年に1回、ゴールデンウィークに「寺子屋」チャリティイベントを開いて、アジアの子どもたちの支援を続けていただいています。講演会や寄席、コンサートなど、各寺院が趣向を凝らし、檀家さん、園芸家仲間と幅広い層からの協力で運営される地域社会に開かれたイベントになっています。
向陽院の金子光憲住職はシャ

クナゲの交配をおこなうほどの園芸家、会場では友人の栽培家から提供されたシャクナゲを販売するのも恒例となっています。
手入れされた境内では夏にはサルスベリと夏椿が楽しめ、近くの清流には蛍が飛ぶ自然豊かな環境です。
近くには保養にも向いている鹿教湯温泉を始めとして、温泉が豊富。第二次世界大戦で若くして戦死した画学生の作品を展示した「無言館」も訪れたい所です。



シャンティからのお知らせ

9割の学校が倒壊したネパール被災地で 支援活動を開始しました

4月25日にネパールの首都カトマンズ北西約80キロを震源としたマグニチュード7.8の地震の被災地で活動を行っています。

ヌワコット郡の調査によると485の学校のうち、9割3721教室が被害を受けました。その群の北に位置するラスワ郡の状況も深刻で、102の学校（教室数1065）の約98%にあたる1053の教室が被害を受けています。壊れた校舎での学習再開は困難であり、このような状況下で子どもを学校に通わせることに対する親の不安も大きいものがあります。6月より本格的な雨季に入ることから、早急に簡易的な教室およびトイレを作り、子どもたちが少しでも安心して勉強できる場所を提供することが必要とされています。シャンティは、現地NPOと協力しヌワコット郡及びラスワ郡にて教育支援活動を行います。※本事業はジャパン・プラットフォーム(JPF)の支援を受けて実施します。

子どもたちの就学支援、脆弱層である女性への支援を検討 震災前から貧困・差別等の課題があったヌワコット郡では、地震により家屋や家畜の被害を受け、そこから生活を再建することはとても困難な状況です。仮設教室やトイレの建設に続き、子どもたちの就学支援、それを支える母親や女性たちの支援を行う予定です。引き続き、ご支援の呼びかけを行っております。



人事のお知らせ

●変更

山本英里

[正職員] 緊急救護室ネパール大地震緊急事業アドバイザー (5月25日付)

2014年11月1日～2015年5月24日まで休職/5月27日から現地入り。1ヵ月間ネパール地震対応にあたる予定

神崎愛子

[正職員] 海外事業課課長兼タイ事業担当(6月1日付)

鈴木淳子

[正職員] 海外事業課ラオス事業担当 兼ミャンマー(ビルマ) 難民事業担当(6月1日付)

●入職

竹内海人

[契約職員] 緊急救護室緊急救護事業担当 (4月1日付)

●退職

本丸愛子

[契約職員] ミャンマー事務所事業コーディネーター (3月31日付)

編集後記

ラオスで、シン(スカート)を仕立ててもらったことがあります。自分の身体に合った服のうれしさを覚えて、手仕事で町のなかに生きていることを実感しました。既製服を着ることが当たり前になっている日本ですが、シンを身につけると、アジアの生活や文化の豊かさに思いをはせます。(清野陽子)

シャンティ 2015年夏 281号

2015年7月1日発行

発行人 若林恭英

発行所 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会
〒160-0015 東京都新宿区大塚町31 慈母会館2-3階
TEL 03-5360-1233 FAX 03-5360-1220
WEB: http://www.sva.or.jp E-Mail: info@sva.or.jp
郵便振替 00150-9-61724

編集人 関尚士

装丁・レイアウト 矢萩多聞

印刷 株式会社大川印刷

[定価 550円]

©2015. Shanti Volunteer Association. All Rights Reserved. Printed in Japan.

●当会へのご寄付は、所得税、住民税および法人税、相続税の優遇措置が受けられます。

これがワタシの
チカラになる!



スタッフの昼ごはん



コミュニティラーニングセンター
事業担当 コサルさん

総務・ドライバー
トンさん

事務所マネージャー
ウィテットさん

総務経理担当
ハンナさん

シエムリアップ事務所の職員さん、
今日の昼ごはんはなんですか？



牛肉のトマト
ソース炒め

魚と空芯菜の
スープ

魚のオムレツ

牛肉と野菜
の炒めもの

豚肉と白菜
のスープ

こんにちは。カンボジア・シエムリアップ事務所マネージャーのヴィチエットです。シャンティで働き始めて2年ほどになります。プロジェクト予算の管理やNGOの関係づくりなど、仕事内容は多岐に渡ります。

お昼ご飯は、月に数回このレストランに来ます。事務所から近く、手頃な値段でおいしい料理を食べられます。カンボジアにはクメール料理と中華料理をどちらにも出す店が多く、このレストランもそうです。クメール料理の代表的なオムレツ料理から、豚肉の炒め物といった中華料理など、様々な種類を楽しむことができます。カンボジアでは2種類以上のおかずをご飯と一緒に食べるのが普通なので、ここに来るときはスタッフを誘ってみんなで分けあって食べます。



ព្រះណារ៉ុន

チガニュー・ナツ
(とてもおいしいよ)

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



「シャンティ」は、FSC®森林認証紙にノンVOCインキ(石油系溶剤0%)で印刷されています。

道

世界平和への力

理事 渡邊智恵子
わたなべちえこ

1993年の夏、曹洞宗国際ボランティア会(当時)の有馬実成さんが白いパナマ帽子をかぶって我が社においてくださったことを今でもはつきりと思い出します。

北海道のオホーツク海に面した小さな町の農家の娘だった私はオルガンを弾くのが大好きで、教室のストープに火が入る前に教室で毎朝オルガンを弾いていました。我が家にはオルガンがなかったからです。

我が家もつと豊かだったら私は音楽家になつていたかも知れません。私のような貧しい家の子どもの夢を叶え手助けをしたい、渡邊智恵子基金を作りたいと考えていました。そんな時に有馬さんと出会い、凄



私は若い頃から
恵まれない子どもたちに
なんらかの手助けをしたいと
思っていました。

い事をやってらっしゃると尊敬し、何かお手伝いをする事があればと申し出ました。

あれから20数年経ち、シャンティとアバンティが近隣同士であることを大きなご縁と感じています。理事として関わるのならしつかり、と思いました。

「本の力を、生きる力に」、素晴らしい理念を掲げているシャンティに渡邊がどのように関わるか。しっかりと仕事をしてもらうことをサポートしていきたい。絵本や図書館から学びをもらった子どもたちがどのようにそれを社会で活用させるか。それを見届けたいといけないのではと思っています。

幸いなことにシャンティにはクラフト・エイド事業があり、現地でもつと仕事をしてもらえるようなプロジェクトや商品開発ができたならと考えていま

す。この事業を大きくして雇用を生み出し、寄付に頼るだけではなく、出した利益を「本の力を、生きる力に」の本来の主旨につかかっていく循環型社会をシャンティで作るのが私の仕事だと思えます。

また私は東日本大震災から「東北グランマの仕事作り」をスタートさせています。これとシャンティが関わっているアジアの女性たちとのコラボができないものかと模索をしています。

これからは女性がつと活躍しなければ世界の平和はないと確信しています。アジアの女性たちの力、それはまさしく世界平和への力であります。シャンティはその重要なポジションにあると思っています。思いは高く、気高く生きてまいりましょう。

(株式会社アバンティ代表取締役)